

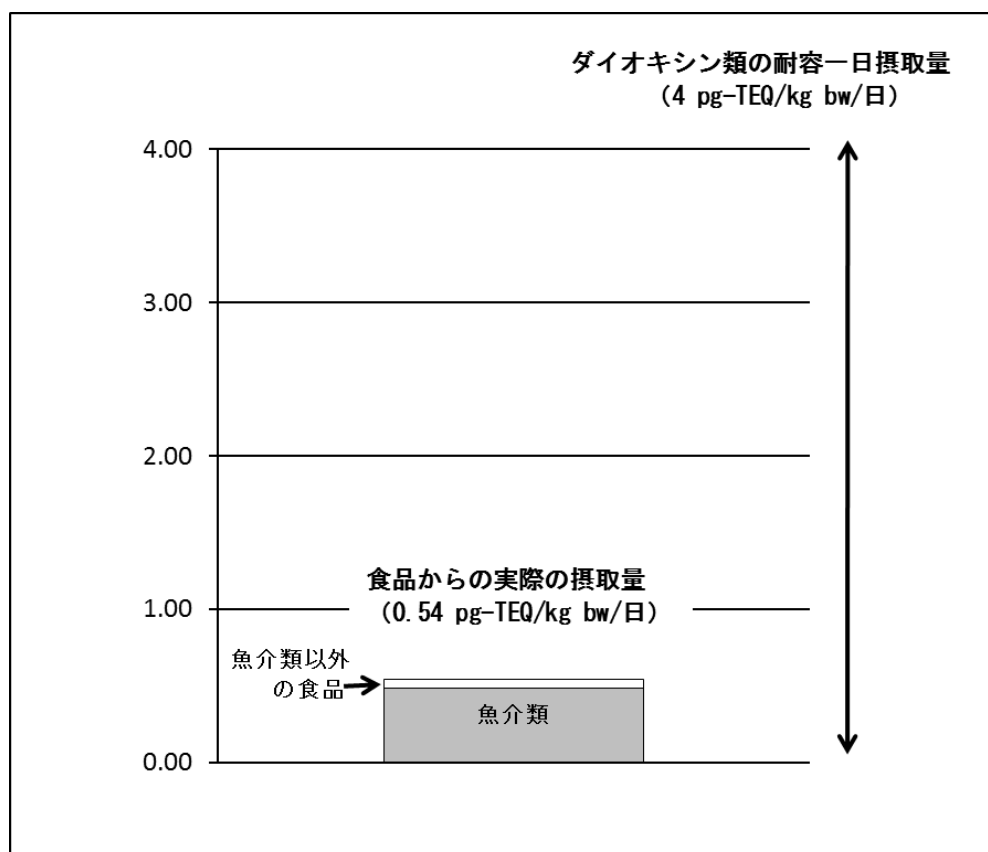
平成 28 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果

本資料は、厚生労働省公表資料「平成 28 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果について」（平成 29 年 12 月 26 日）をもとに、消費・安全局畜水産安全管理課で作成しました。

厚生労働省による平成 28 年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査では、日本人の一般的な食生活で取り込まれるダイオキシン類の量は $0.54 \text{ pg-TEQ/kg bw/日}$ （そのうち魚介類は約 9 割を占める）と推定され、調査を開始した平成 10 年度以降、摂取量は若干の増減はあるものの緩やかな減少傾向となりました。

この値は、耐容一日摂取量（TDI）の 4 pg-TEQ/kg bw/日 を下回っており、同調査結果では、「一部の食品を過度に摂取するのではなく、バランスのとれた食生活が重要であることが示唆されました」とされています。

食品からのダイオキシン類摂取量と耐容一日摂取量の比較



注) 食品以外（大気、土壌等）からの摂取量については、環境省の「ダイオキシン類の蓄積・ばく露状況及び臭素系ダイオキシン類の調査結果について」を参照してください。